

\* アナフィラキシーの定義について

「アレルギー疾患に関する調査研究報告書」によると

「アナフィラキシーとは、アレルギー症状が2臓器以上に出現した状態を言い、アナフィラキシーショックとは、その状態が更に血圧低下や意識消失にまで至った状態を言う。」と定義されています。

また、「食物アレルギーの診療の手引き 2008」によると

「アナフィラキシーとは、食物、薬物、ハチ毒などが原因で起こる、即時型アレルギー反応のひとつの総称。皮膚、呼吸器、消化器など多臓器に症状が現れる。時に血圧低下などのショック症状を引き起こす。こうした生命をおびやかす危険な状態をアナフィラキシーショックと呼ぶ。」と定義されています。

これらの定義を踏まえ、ここでは『即時型アレルギー反応によって呼吸困難や循環不全(ショック)など重篤な症状を起こしたものをアナフィラキシーととらえ、このマニュアルを作成しました。

<引用・参考文献等>

- ・ 「食物アレルギーによるアナフィラキシー学校対応マニュアル小中学校編」 財団法人日本学校保健会 平成 17 年
- ・ 「食物アレルギー対応の手引き～食物アレルギーを正しく理解し、適切に対処するために～」 仙台市教育委員会 平成 17 年
- ・ 「アレルギー疾患に関する調査研究報告書」 アレルギー疾患に関する調査研究委員会 平成 19 年
- ・ 「食物アレルギーの診療の手引き 2008」 厚生労働科学研究班 平成 20 年
- ・ 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」財団法人 日本学校保健会 平成 20 年

発行日	平成 19 年 12 月 平成 22 年 2 月 改訂版
発行	神奈川県教育委員会
監修	神奈川県医師会 理事 富永 孝 神奈川県立こども医療センター アレルギー科部長 栗原 和幸
協力	神奈川県学校保健連合会養護教諭部会 神奈川県立学校保健会養護教諭部会 神奈川県学校栄養士協議会
編集	神奈川県教育委員会教育局保健体育課